



○10月19日(金)から29日(月)まで、まちなみ伝承館とまちや館で「奈良のむかしばなし」のパネルを展示しました。また、関連企画として、「五條のむかしばなし」のお話を10月21日(日)に開催しました。



○平成22年、重伝建に選定されて以降、8年間で35件の修理工事をおこないました。

江戸時代の町家が数多く軒を連ねる五條新町地区の町並みは、当時を今に伝える貴重な文化財の一つとして、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。400年の歳月をかけて受け継がれてきたこの町並みを守り伝えるために、まちなみ伝承館に事務所を置く文化財課町並み保存整備室では、様々な取り組みを行っています。新町通りを歩くと、建物の修理工事の現場をよく見かけると感じます。これは、伝統的な景観を守るために、偏みの激しい建物を健全な状態に修理する工事です。長い年月の中で住み続けられてきた建物は、時代や生活スタイルの変化に伴って改修されていることがほとんどです。修理では、外観を柱などに残された痕跡をもとに、伝統的な形に復元します。しかし、実際に人々が暮らす建物ですので、外観は伝統的な形を守りながらも、内部は現在のスタイルに合わせ、住みやすいように変えることができます。

五條新町地区は、人々が実際に生活をする「生きた町並み」です。町並みを守るためには、住民が主体となって取り組むことが大切なことから、住民によって組織された町並み保存会と連携していく体制を築いています。この貴重な町並みを広く知ってもらい、未来に伝えていくために、まちなみ伝承館やまちや館では、来訪者への案内や展示を通して、町並み保存に対する理解を深めてもらう取り組みをおこなっています。新町通りにお越しの際は、ぜひ、まちなみ伝承館、まちや館にお立ち寄りください。

文化財課

町並みを守り伝える文化財課の取り組み

子どもサポートセンター

青少年健全育成事業をご紹介します。

平成30年8月10日(金)から12日(日)の2泊3日で、愛知県美浜少年自然の家において市内在住の児童・生徒を対象にトレジャーキャンプを実施しました。このキャンプは、自然環境の中で、異年齢の児童・生徒たちが共同生活を通して、人を思いやり、個性を磨くとともに、社会をたくましく生き抜く力を育むユニークな取り組みを目的として、毎年夏休み中に実施しています。今年度は42名の児童・生徒が参加し、奈良県青少年指導員、ボランティア団体風のつばさの会の会員、大学生ボランティアの指導のもと、野外炊飯、キャンプファイヤー、海水浴、クラフト作り等の様々な活動を行いました。

全国的に猛暑日が続く最中の実施となりましたが、子ども達は暑さにも負けず屋外での活動を楽しんでいました。自然の家から歩いてすぐのところに海水浴場があり、海がない県から来た子どもたちは目を輝かせて海水浴や砂遊びを満喫しました。

学校や年齢が異なる児童・生徒で班行動をし、協力し合って活動を行い、寝食を共にしていく中で一体感や連帯感が生まれ新しい友達もできました。また、各班で決めた各自の役割分担をこなしていくことで責任感も養うことができました。さらに集団生活を通して一人一人が時間や規律を守ることの大切さを学ぶことができました。

今後の青少年健全育成事業としては、来年1月12日(土)に雪中金剛登山を予定しています。

五條市教育広報

夢志のひろば

MU-SHI

編集・発行 五條市教育委員会 ☎0747-22-8751 637-0083 五條市下之町 21 番地

もくじ

- 1 面 秋の行事について
- 2 面 学校紹介
- 3 面 学校紹介
- 4 面 教育委員会から

秋の行事のようすをお届けします



10月7日(日) 市民レクリエーション大会
市民が気軽にスポーツを楽しむことのできる機会づくりの一環として毎年「市民レクリエーション大会」を開催しています。幼稚園・保育所の園児によるオープニングの後、小学生を始め、幅広い年代の人々が各種目に参加しました。参加者はスポーツを通じて仲間との交流を図ることも、爽やかな汗を流していました。

11月3日(土)・4日(日) 第37回五條市文化祭
市民会館・中央公民館を始めとする市内各所で文化祭が行われ、展示や発表など日ごろの文化・芸術活動を披露されました。今年は9月に「奈良県大芸術祭・奈良県障害者大芸術祭オープニングフェスティバル」が開催され、文化・芸術活動への関心がひととき大きくなっている中で開催でした。今後文化・芸術活動の振興を図るため様々な取組を展開していきます。

11月14日(水) 第46回五條市立小中音楽会
毎年恒例の小中音楽会がシタールアリーナで開催されました。市内の小中学生が日ごろの練習の成果を存分に発揮することができました。訪れていただいた保護者・地域住民の方々の心にもすてきなハーモニーが届いたことでしょう。

子ども達は音楽活動を通して音楽の楽しさや、仲間との絆、集団でひとつのものを創りあげる喜びを学んできたと思います。

【めざす児童像】

あかるく元気な子
だれにも親切な子
しっかりと考える子
ことばを大切にする子

学校教育目標

人としてたくましく生き抜く 語り書き「あだっこ」の育成
～ やさしく・かしこく・たくましく ～



阿太小学校

原町225番(22) 7235

☆他の取組

読み聞かせ
クラブのボランティア

地域の人のいっしょに、子どもたちに力をつける・よき人に育てる取組

【防災教室】

本年度は学校・保護者・地域と連携し、防災意識の向上に取り組んでいます。市役所や市内の防災関連用品を製造している会社にも協力をお願いし、防災教室を実施しました。普段見る機会がない防災倉庫の中を見学することで、どのような物が集まっているか知ることができました。また、防災グッズの組み立て体験も行いました。



【ひまわり大きなあれ】

毎年、地域の更生保護女性会の方と一緒にひまわりを植えています。会員の方が種から育ててくれた苗を全校児童で植えます。ひまわりのように元気に大きく育って欲しい」とお話ししてくださいました。子どもたちは植える方を教えてもらい、夏頃に大きな花を咲かせることができました。



【手話体験】

地域の方に学校で手話を教えてもらう体験活動を行っています。今年は1・2年生の児童が「365日の紙に」の手話を教えてもらいました。手話は耳の不自由な人にとって言葉と同じです。子どもたちがみんなと気持ちを通じ合えることを願いながら活動に取り組んでいます。



◇生徒指導の三機能を生かした教育活動

児童自ら現在及び将来における自己実現を図っていくための自己指導能力の育成をめざすという生徒指導の意義を踏まえ、生徒指導の三機能「自己決定の場を与える」、「自己存在感を与える」、「共感的人間関係を育成する」を取り入れた教育活動を進めています。

確かな学力をもつ子
健やかな体をもつ子
和協心愛の心をもつ子

◇自主学習の推進

学びの基盤となる読書活動を推進しながら、基礎・基本の定着をはかり、創造性・自主性を育み、児童が主体的に取り組む家庭学習や、調べる学習の取り組みを進めています。

◇プロジェクトブックス

本校教育活動の基盤のひとつとして「読書」を位置付け、体系的な読書活動を推進し、児童の学力向上や心の育成に生かしています。朝の読書、家談、図書館だよりの発行、図書館の利活用等に取り組んでいます。



北宇智小学校

近内町1158番(22) 1965



きたまるくん

教育目標 「のびよ あかるく たくましく」
自尊感情や人権意識が高く、郷土愛にあふれる児童の育成

「自ら考え、いきいきと伝え合う児童の育成」

～子ども自身が見通しと自分の考えをもてる算数科の学習を通して～

うち学交流



うち学（自主学習）
主体的に取り組む「うち学」として2年生の2学期から毎日、自主学習をしています。今年度は自主学習が中学校での自らの学びにつながるよう、目標を「高学年で自分の課題を見つづける力がつくように積み上げる」としています。モデルとなる「うち学」の掲示や、異学年との「うち学交流」、自信や意欲につながる「うち学ノートタワー」など、より深まりのある「うち学」になるよう取組を進めています。

学習意欲を高め、学力向上を目指した取組

かがやきタイム
朝の会の後、基礎学力の定着を図るために複数の教師による指導のもと、基礎的な内容の算数プリントに取り組んでいます。10分間という限られた時間の中で、時間を意識して問題に取り組む力もついています。



おもしろ算数広場
算数への関心・意欲を高めるため、楽しく遊びながら算数教具や算数クイズに自由に触れられる場作りをしています。昼休みに開放し、ボランティアの方にも協力していただきながら、自分の課題に応じたプリント学習にも取り組んでいます。



宇智小学校研究発表会の開催

本校では、平成28年度より算数科の研究に取り組んでいます。今年度はその集大成として、10月25日に研究発表会を開催しました。五條市内外より30名近くの先生方に来ていただき、1年生・5年生の授業公開と本校の取組の経過について発表を行い、最後に奈良教育大学 近藤裕教授に記念講演をしていただきました。これまでの取組の成果と子どもたちの学びの高まりを、多くの方に伝えられる研究発表会となりました。



宇智小学校

今井町1153番(22) 2515



五條東中学校

今井5-7-12番(22) 2814

教育の情報化の推進

日常生活における営みを、ICTを通じて行うことが当たり前になっている現代社会において、子どもたちにはICTを受け身で捉えるのではなく、手段として積極的に活用していくことが求められています。五條東中学校では、北宇智小学校、阿太小学校、宇智小学校と共に「創意工夫を生かした特色ある学校づくり事業」五條市教育委員会指定研究校として、3小学校と合同のICT活用研修を3回実施し、授業での活用方法に関する情報交換を行った。講師を招聘した学習会を行った。ICT機器を効果的に活用した授業づくりを推進するとともに、子どもたちのICTを活用する力を高める取組を行っています。

「チーム東中」の取組

五條東中学校の教職員に加えて、多様な人材が、それぞれの専門性を生かし、一体的に指導することで、子どもたちに必要な資質・能力を育むとともに、子どもたちが様々な価値観や経験をもつ大人と接することで、より厚みのある経験を積み、「生きる力」の定着に向けた取組を行っています。

外部人材
スクールカウンセラー
（心理に関する専門的知見を有する）
スクールソーシャルワーカー
（福祉の専門性を有する）
ICTサポーター 外国語指導助手
図書支援員 日本語支援員
ダンス指導員 部活動外部指導員
地域コーディネーター
学生ボランティア（授業や夏季休業中の質問教室、体育大会などの補助）
警察スクールサポーター（見守り活動）

小中連携への取組

〇3小学校児童の中学校訪問を通して、児童間の交流を行うとともに、校舎や授業見学、生徒会役員による学校紹介を実施します。
〇小学校でのスポーツテスト指導を、中学校体育科教員が行っています。
〇3小学校と中学校の教員が公開授業を行い、相互理解に努めています。
〇中学校1年生が、「喫煙防止教室」で学習したことを紙芝居にまとめ、3小学校が児童の喫煙防止授業で活用します。
これらを通して「一ギャップ」解消を目指します。

国際交流

昨年度は中国広東省肇慶市南師範大学附属外国語学校の学校訪問に引き続き、今年度も、中国からの学校訪問を受け入れます。お互いの学校紹介や合同授業といった交流を通して、異文化理解学習をしています。

